

基本的な情報収集②

行動を記録する体験

この演習の目的

対象者が表す行動について、支援者がその行動の背景にある理由が分からないため、自分なりの解釈をし、その結果として誤った対応を行ってしまうことがあります。
この時間は、行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する考え方を学びます。

【ポイント】

- ① 特性確認シートと冰山モデルの関連を理解しましょう
- ② 行動の背景にある【情報処理の特性】と【環境・状況】の相互作用を確認しましょう

研修を進める前に ～この講義で目指している事～

- 強度行動障害支援の経験が、0年0ヶ月の方にもわかりやすい研修
- 障害特性を把握し、冰山モデルに落とす作業をフレームワークで出来る状況
- 予防的な支援として「特性確認シート→冰山モデル」を定着させる

研修を進める前に

～この資料を使用するに当たって事前に確認してほしい事～

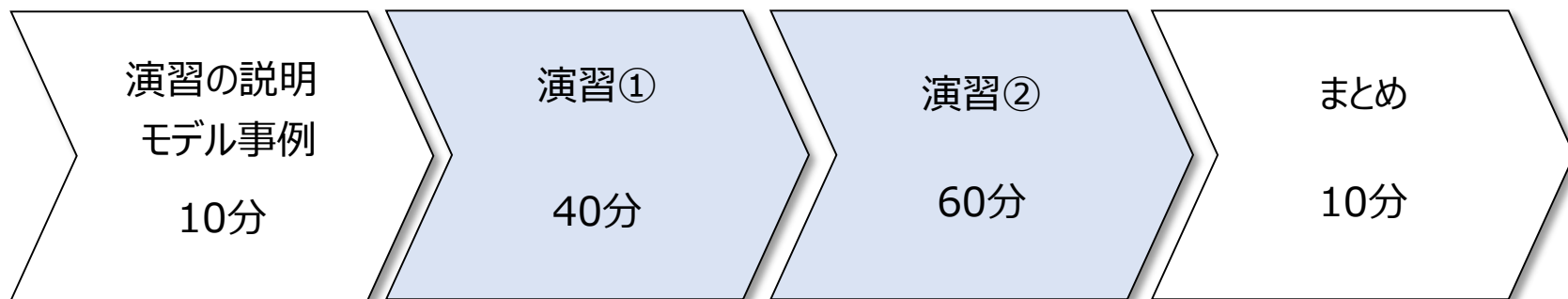
- 特性確認シートは、【1】「現れている行動の特性」をチェックし、ビデオ等から具体的な行動をピックアップし
- 次にそれに対応する【2】「その行動の背景にある要因として考えられること」が冰山モデルの「本人の特性」に対応しています

研修を進める前に

～この資料を使用するに当たって事前に確認してほしい事～

- ここにアップされている特性確認シートの【1】 「現れている行動の特性」には、行動的に配慮が必要な特性も含まれています。
- 冰山モデルの「本人の特性」を記載する時に、当然【1】の部分の特性も表記されるべきですが、今回の研修では、誰でもがわかりやすく、特性把握から冰山モデルの記入が出来ることを想定していますので、今年度は【2】 「その行動の背景にある要因として考えられること」から特性をピックアップしていくこととしています。
- 今後、特性確認シートは、フレームワークに対応可能なように修正、提示していく予定です。

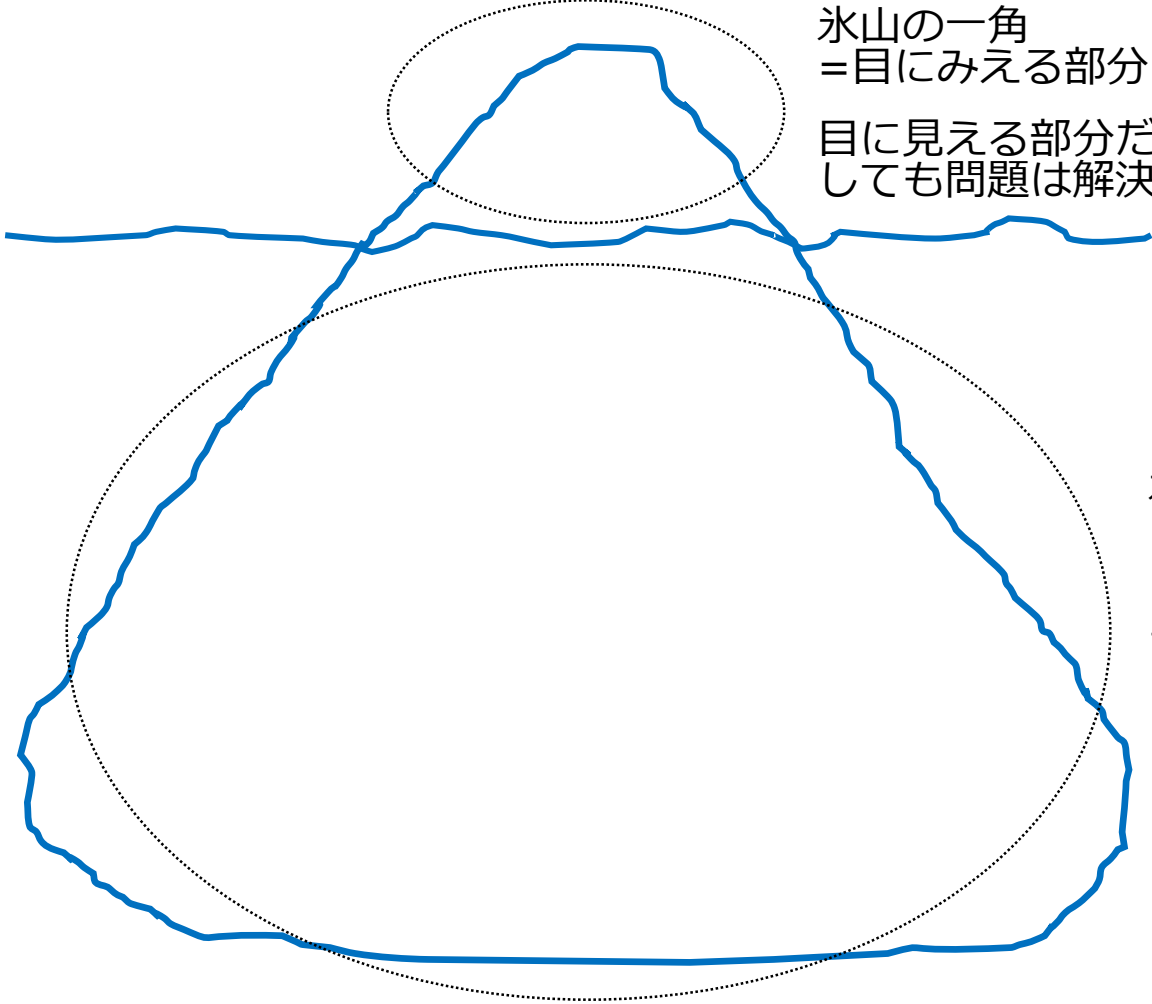
この時間の流れ



演習①：事例対象者の障害特性を個人・グループで検討し、行動の背景を考えるポイントを学びます。

演習②：事例対象者の障害特性と影響を及ぼしている周囲の環境について個人・グループで検討し、行動の背景を考えるポイントを学びます。

行動の背景を知るための「冰山モデル」



The diagram illustrates the iceberg model of behavior. A blue line represents the surface of an iceberg, with a small peak above the water line and a large, rounded base below. A horizontal line represents the water surface. A dotted oval highlights the peak above the water, and another dotted oval highlights the large base below the water.

氷山の一角
=目にみえる部分

目に見える部分だけに対応を
しても問題は解決しない。

水面下に大きな塊がある
=目にみえない部分

目に見えない部分を理解して
アプローチすることで、表面
に出ている問題が小さくなる。

氷山モデルシート

課題となっている行動

強度行動障害

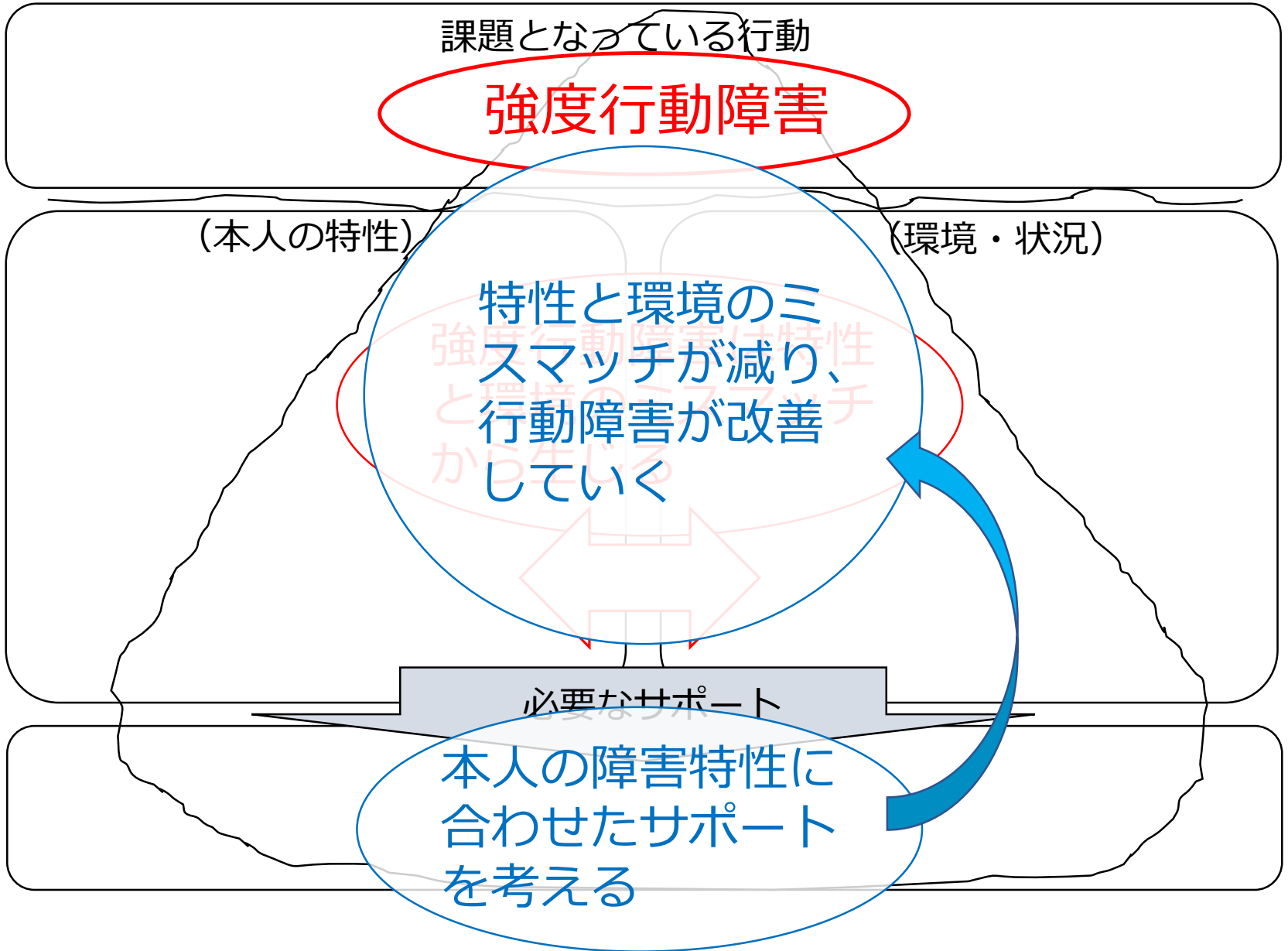
(本人の特性)

(環境・状況)

特性と環境のミスマッチが減り、
行動障害が改善
していく

必要なサポート

本人の障害特性に
合わせたサポート
を考える



特性確認シートと冰山モデルの関連

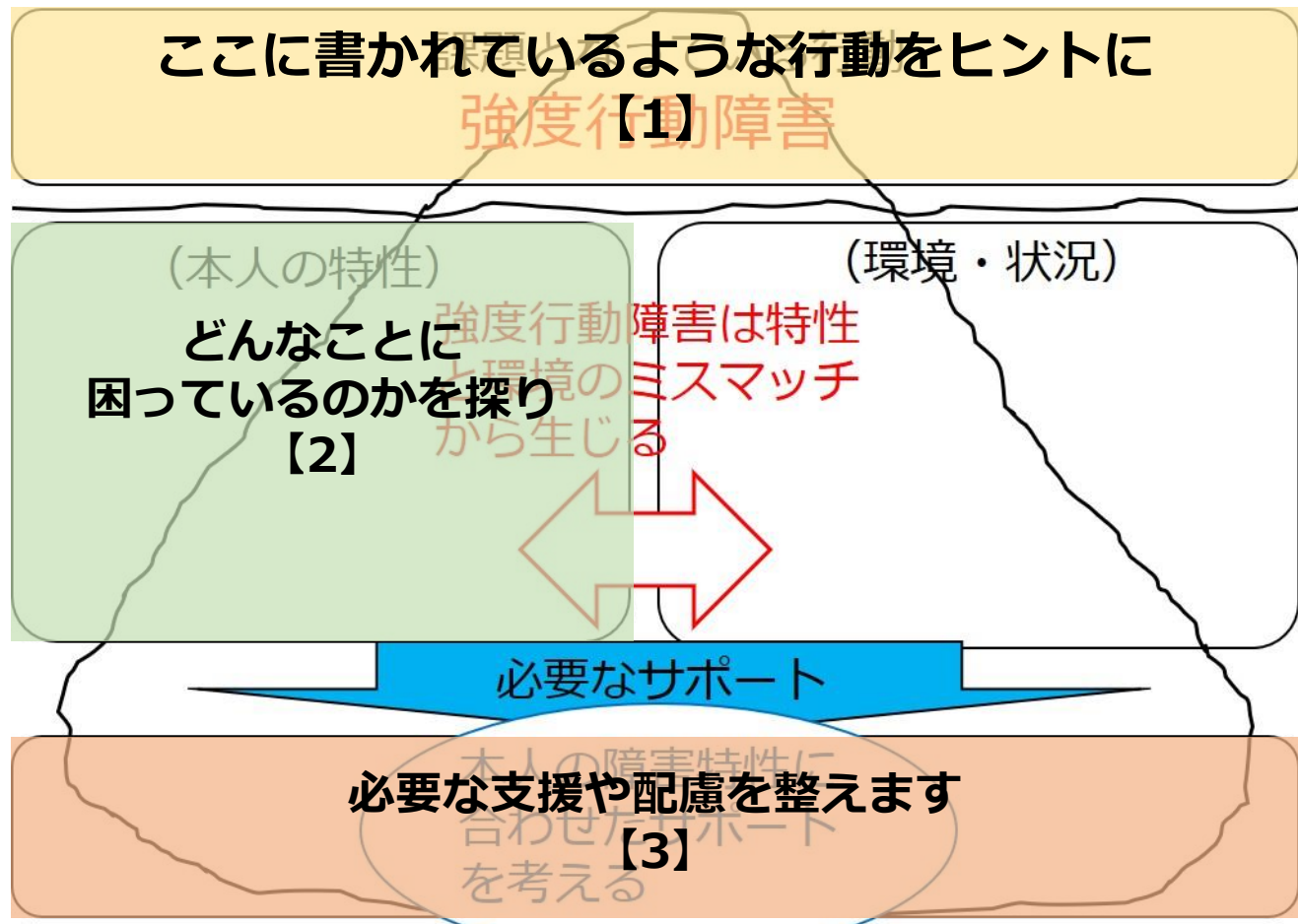
特性確認シート

診断の基準に關係する項目		【1】診断の基準に關係する行動の特性 現れている行動の例	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
人々や集団との関係に難しさがある	人とのかかりが一方的である 相手の気持ちに關係なく行動する 一人であることをお好む	同世代の人と上手に付き合うことができない 人が多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが難しい 周囲の様子から期待されていることを理解することが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい		見えないものの理解が難しい 曖昧なものの理解が苦手である 視線や雰囲気から読みとるのは苦手である 表情や声質など全体的な理解が苦手である 文字や数字、示された情報を理解することができない 情報の多いものやその処理が苦手である どこを見たらいいか、どこで活動したかといっしょにわからない 今あるいはさきしていったことを忘れてしまう 一緒に同じものを見て気持ちを通わせることが難しい 気分になることから抜けられない ものごとの関連性がわからない 刺激に影響されやすい 運動や手先の使い方が不得手で活動をこなせない 姿勢や動きがぎこちないためにやる気がないように見える 時間の流れを頭の中で組み立てられない 終わりが理解しにくい 手帳が思いつかない ひとつの活動に集中しきれない その他	生かせる強みがある(☆欄から) 自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する いつどこで「何を」の情報を見てわかるように伝える 書目すべき場所を強調する 一つの場所を多目的に使わないようにする 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何をやる」をわかるように工夫する 困ったときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える 環境を整え、刺激を少なくする 活動の量やジグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する その他
	状況の理解が難しい	年齢相応の常識(社会的なルール)が身につけていない その場にふさわしい(安全・迷惑等状に配慮した)行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてしまう		見えないものの理解が難しい ものごとの関連性がわからない 情報の多いものやその処理が苦手である 細部に着目してしまう 刺激に影響されやすい 相手の言葉そのままだと受け取ることが多い(音、声など) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(反響言語、エコリア) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(見て理解が得意) 抽象的で曖昧な(ちょっと、ゆっぴり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない 字義通りの理解(言外の意味を把握できない)	生かせる強みがある(☆欄から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等)を提供する 伝える量に配慮する 伝える速さを調整する 確認できるまで待つ 環境を整え、刺激を少なくする だれに、どうやって伝えるかを事前に確認する 忘れたときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える 会話も見えるようにする 本人の得意な方法で伝える 会話のペースを調整する 会話のペースを調整する その他
理解が難しい	言語で指示をしてもすぐに行動できない 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい 相手の表情や視線、気持ちを汲み取ることが苦手である 短い言葉でないとうわらわらしない 相手の言葉そのままだと受け取ることが多い(音、声など) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(反響言語、エコリア) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(見て理解が得意) 抽象的で曖昧な(ちょっと、ゆっぴり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない 字義通りの理解(言外の意味を把握できない)	言葉で指示をしてもすぐに行動できない 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい 相手の表情や視線、気持ちを汲み取ることが苦手である 短い言葉でないとうわらわらしない 相手の言葉そのままだと受け取ることが多い(音、声など) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(反響言語、エコリア) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(見て理解が得意) 抽象的で曖昧な(ちょっと、ゆっぴり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない 字義通りの理解(言外の意味を把握できない)		見えないものの理解が難しい ものごとの関連性がわからない 情報の多いものやその処理が苦手である 細部に着目してしまう 刺激に影響されやすい 相手の言葉そのままだと受け取ることが多い(音、声など) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(反響言語、エコリア) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(見て理解が得意) 抽象的で曖昧な(ちょっと、ゆっぴり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない 字義通りの理解(言外の意味を把握できない)	生かせる強みがある(☆欄から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物等)を提供する 伝える量に配慮する 伝える速さを調整する 確認できるまで待つ 環境を整え、刺激を少なくする だれに、どうやって伝えるかを事前に確認する 忘れたときに誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える 会話も見えるようにする 本人の得意な方法で伝える 会話のペースを調整する 会話のペースを調整する その他
	発音が難しい	言葉の特定の機能しか使えない(要求のみ、あいさつ) 返事が相手の言葉の繰り返しになりやすい この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの文法が使えない(単語・二語文) / 使えないも動詞(がの)を間違える	言葉の特定の機能しか使えない(要求のみ、あいさつ) 返事が相手の言葉の繰り返しになりやすい この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの文法が使えない(単語・二語文) / 使えないも動詞(がの)を間違える		見えないものの理解が難しい ものごとの関連性がわからない 情報の多いものやその処理が苦手である 細部に着目してしまう 刺激に影響されやすい 相手の言葉そのままだと受け取ることが多い(音、声など) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(反響言語、エコリア) 言葉の意味を勘違いすることがよくある(見て理解が得意) 抽象的で曖昧な(ちょっと、ゆっぴり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない 字義通りの理解(言外の意味を把握できない)
やり取りが難しい	視線が合わない やりとりが難しい やりとりが続かない 唐突に話し出す / 自分が知っていることは相手も知っている前提で話をする事ができない 理解と発音の状態のアンバランスが大きい	視線が合わない やりとりが難しい やりとりが続かない 唐突に話し出す / 自分が知っていることは相手も知っている前提で話をする事ができない 理解と発音の状態のアンバランスが大きい		自分の(ひとつの)やり方から抜け出すことが難しい 変更があることの理解が難しい 興味関心が強くて狭い 集中しすぎると注意の移動が難しい その態度判断するのが苦手である 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である 少しの違いで大きな不安が生じる 目から入った記憶に強く影響される 手がかりが変わるとわからなくなる やり方を覚えられず、自分のルールに戻ってしまう フラッシュバックと思われる混乱がある その他	生かせる強みがある(☆欄から) 最初から正しい方法で学べる準備をすること 予告を視覚的に示し、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 変更の伝え方を統一する 順番の提示などが活動の選択のかを明確にする 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせた提示(ごほうびの活用)を行う ごほうび等を活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
	変化への対応困難	自分のルールを変えられることに抵抗がある / 必要があっても変更できない 日課が変わる、担当が変わる、場所が変わるなどの変更が頻りに 活動の途中で止められると対応できない 新規環境(初めての)ことが苦手である 段取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である		自分の(ひとつの)やり方から抜け出すことが難しい 変更があることの理解が難しい 興味関心が強くて狭い 集中しすぎると注意の移動が難しい その態度判断するのが苦手である 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である 少しの違いで大きな不安が生じる 目から入った記憶に強く影響される 手がかりが変わるとわからなくなる やり方を覚えられず、自分のルールに戻ってしまう フラッシュバックと思われる混乱がある その他	生かせる強みがある(☆欄から) 最初から正しい方法で学べる準備をすること 予告を視覚的に示し、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 変更の伝え方を統一する 順番の提示などが活動の選択のかを明確にする 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせた提示(ごほうびの活用)を行う ごほうび等を活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
想像力の特性	物の一部に対する強い興味	構圖、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返し再生など的一部分に執着する 必要があっても、自分の興味のないものに關心を示すことができない 細かいことが気になってひっかかる 声をかけても聞こえていないようにふるまうことがある		感覚に過敏がある 感覚に鈍麻がある 感覚の入出力のコントロールが難しい 純粋さを補うための自己刺激行動がある 疲労やストレスが感覚に影響を与えている その他	生かせる強みがある(☆欄から) 必要な刺激は保証する 苦手な刺激を少なくするための配慮(イヤーマフ・サングラスなど)をする 他刺激で代用するなど、強/危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確保を行う その他
	常同・反復的な行動	同じ場所に置きたい、同じ角度にしたなどのこだわりがある 同じ行動や活動、同じ言葉を何度も繰り返す / 長時間続ける 自分なりの手順、日課、連順などの自分ルールが多くある		感覚に過敏がある 感覚に鈍麻がある 感覚の入出力のコントロールが難しい 純粋さを補うための自己刺激行動がある 疲労やストレスが感覚に影響を与えている その他	生かせる強みがある(☆欄から) 必要な刺激は保証する 苦手な刺激を少なくするための配慮(イヤーマフ・サングラスなど)をする 他刺激で代用するなど、強/危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確保を行う その他
感覚の特性	感覚が敏感・鈍感	聴覚 / 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど 視覚 / 眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目元にかぶる、キラキラに没頭するなど 触覚 / 同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど 嗅覚(臭覚) / 刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど 味覚 / 著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど 臭覚 / 刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど その他 / 目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど その他 / 体温調整や気圧の変化への対応の苦手さがあるなど		感覚に過敏がある 感覚に鈍麻がある 感覚の入出力のコントロールが難しい 純粋さを補うための自己刺激行動がある 疲労やストレスが感覚に影響を与えている その他	生かせる強みがある(☆欄から) 必要な刺激は保証する 苦手な刺激を少なくするための配慮(イヤーマフ・サングラスなど)をする 他刺激で代用するなど、強/危険な刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確保を行う その他
	☆得意なこと・強み・できること・好きなことなど				

ここに書かれている様な行動をヒントに
【1】
どんなことに困っているのかを探り
【2】
必要な支援や配慮を整えます
【3】

冰山モデルの考え方

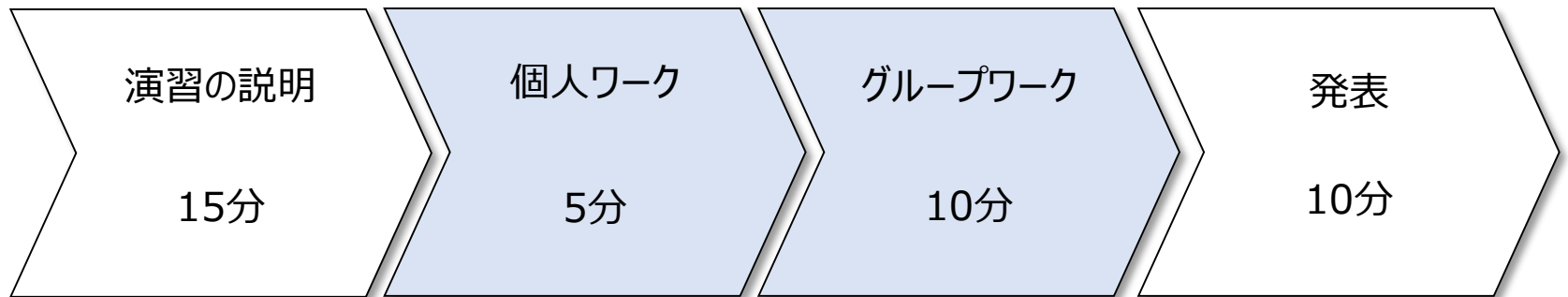
項目	内容	内容	内容
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10



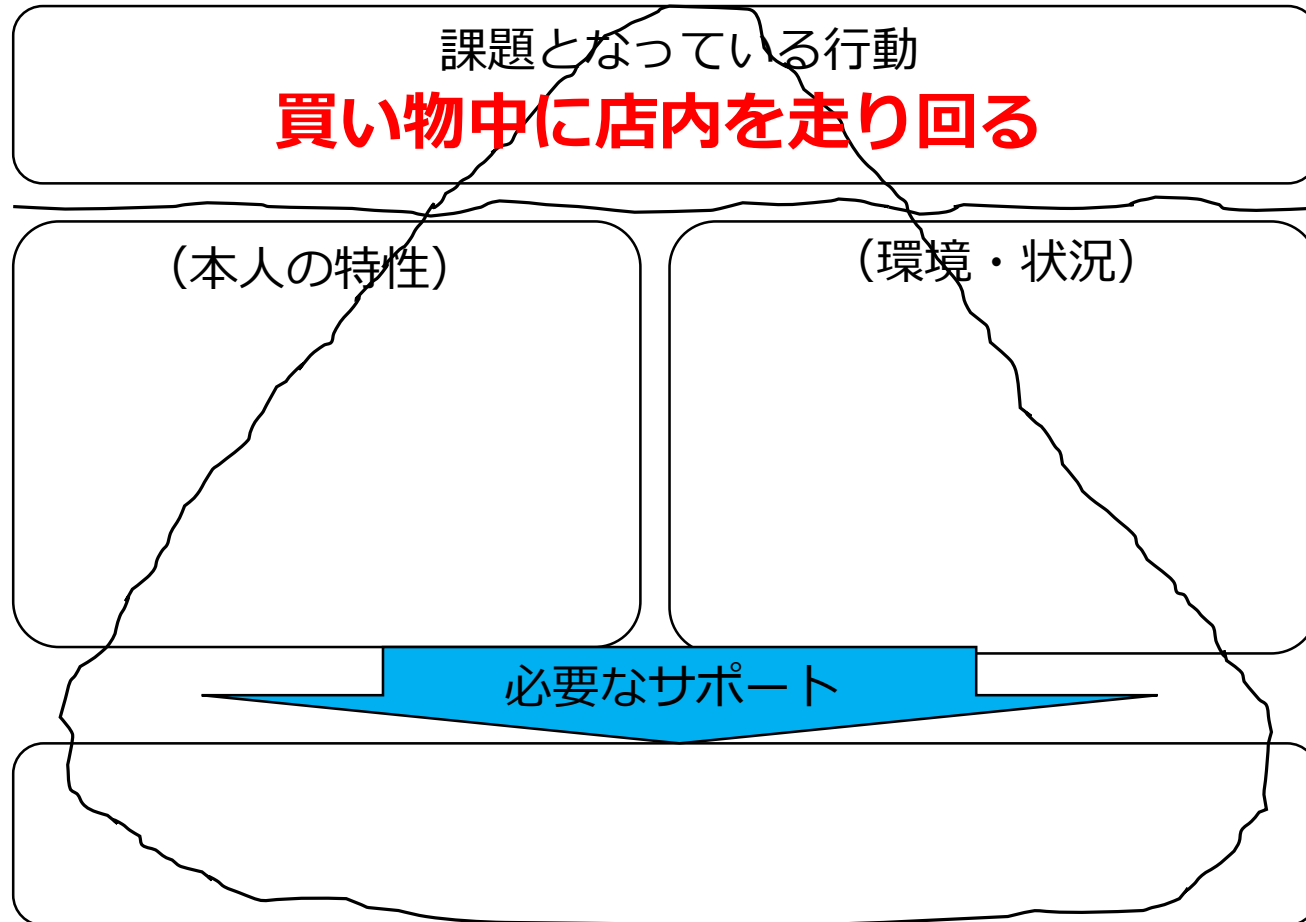
演習① | 障害特性を考える

- 特性確認シートと冰山モデルシートを使用します

【演習の流れ】



冰山モデルを使ってKさんの行動を整理します



この2つの資料を使います

配布資料③ - 2

配布資料④ - 1

特性確認シート	【1】課題と関係する行動の特性	具体的な行動	【2】その行動の困難に影響する要因として考えられること
診断の基準に関連する項目	現れている行動の例		(認知・記憶・注意・集中・運動・感覚などの特性も含む)
人々や集団との関係に難しさがある	人とのかわりか一方である 相手の気持ちに察しなく行動する 一人でいることを好む 同年代の人と上手に付き合うことができない 人が多いところが苦手である 集団の中心にいったり外れすぎることが多い 集団の様子から察知されていることが苦手である 物事に決められていることと自分で決められていることとの区別が難しい	店内を走り回る	見えないものや理解が難しい 集団の中の理解が苦手である 視線や雰囲気から読みとるのは苦手である 気持や声など全体の理解が苦手である 文字や音時、示された情報を理解することができない 情報の多いものや情報の変化が苦手である どこを見たらいいかわ、どこで活動したらいいかわからない 手探りで進んでいることを忘れてしまふ 一瞬に思いついたことを実行してしまう 気がなくなるから振れない ものごとの関連性がわからない 順番に並べられない 運動や手先の使い方が不得手で活動が苦手な 姿勢や動きが苦手なためにやる気がないように見える 情報の変化を感知できず振りまわられる 振り方が理解しにくい 手探りで進めない ひとつの活動に集中しきれない その他
社会的特性	事前確認の準備(社会的ルール)が得意ではない その場になじめない(服装・挨拶・挨拶・態度)行動とれない 集団にどのように見られているかわからない 集団のことに興味を示さない 高次の集団が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 集団の中で上手に待つことができない 気持と行動が一致しない		
状況の理解が難しい	言語で指示をしてもすぐ行動できない/指示されたことと違うことをする 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わると違うことを行う 相手の意図や感情、気持ちを汲み取ることができない/特定の表情や言葉にだけ過剰に反応する 短い言葉でないとわからない(短い言葉ならわかることもある) 相手の言葉をそのまま繰り返すことがある(反復言葉・エコーラリ) 言葉の意味を聞き取ることがある(目で補助が得意) 無意味で意味不明(何よつと、ゆくり、なんとなく、だいたいなど)表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣習句などが理解できない/字義通りの理解(意味の転換を把握できない)		見えないものや理解が難しい 情報の多いものは苦手 視線や集中しすぎ 視線に影響されやすい 聴覚に過敏がある(音・声など) 聴覚に過敏に聞こえる 言葉の記憶の保持が難しい 音声言語ではうまく伝えられない 顔に伝えられないかわからない どうやって伝えたらいいかわからない やりとりをするときに意味がわからない 視線が鋭く刺さる 言葉の意味がわからない 言葉の意味がわからない 言葉の意味がわからない その他
コミュニケーションの特性	行動(かんしゃく・パニック・身体症状・クレーンなど)で気持ちを伝える コマースやアニメの台詞は覚えても伝える手段で言葉を使えない 自分からわからない言い方で伝えることがある(聞かなくて「りんご」と言うなど) 言葉の意味を聞き取ることがある(目で補助が得意) 足音が相手の言葉を繰り返すにたりやすい(反復言葉) この場所ではこの台詞、この人はこの台詞とお決まりの台詞が多い 文法がわからない(単語・二語文)/使えても動詞(おのれ)を間違える		自分の(ひとつの)やり方から抜け出すことが難しい 言葉があることの意味が難しい 興味心が強くて多い 集中しすぎるや注意の移動が難しい その動機を判断するのが苦手である 自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを理解するのが苦手である 少しのことで大きな不安が生じる 自分から入った刺激に強く影響される 手がかりがわからないからわからない フラッシュバックや思わぬ混乱がある その他
やり取りが難しい	視線が合わない/アイコンタクトが難しい やりとりが苦手な やりとりが苦手な 言葉に話し出す/自分が知っていることは相手も知っている前提で話をするのができない 理解と発話の状況のアンバランスが大きい		
想像力	自分のルールを伝えられることに抵抗がある/必要があっても言葉を使えない 視線が変わる。担当者が変わる。場所が変わるとの言葉に強い 活動の途中で止まるのが苦手な 情報提供(初めてのこと)が苦手である 見取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である		
想像力の特性	言葉、口舌、テレビCM、電車、DVDの録り直しの再生などの一部に執着する 必要があっても、自分の興味のないものに興味を示すことができない 細かいことが気になってひびくかな 声かけなくても聞こえてくるように思ってしまうことがある		
物の一部に対する強い興味	同じ場所に置きたい、同じ向きにしたいなどのこだわりがある 同じ行動や動き、同じ言葉を繰り返す/覚える/覚える 自分なりの手順、目録、通帳などの自分ルールが多くなる		
共通・反復的な行動			
感覚が敏感・鈍感	目撃/目を遮る、特定の音を探る、嗅ぐ、特定の音で大音量にしたがるなど 痛覚/触覚/温度/痛覚/かたまり/固さ、硬さ、柔らかさ、温度、湿度などで詳しく感じ取るなど 味覚(酸味)/臭覚(臭い)、特定の臭いを拒絶し嫌うなど 味覚/臭い/痛覚、特定の刺激の強い味を好む、同じものをばかり食べるなど 痛覚/痛覚を好む、特定の臭いを拒絶し嫌うなど その他/自分が知らない、コントロールが多い、高い場所が好きなど その他/体温調節や気圧の変化への対応の苦手さがあるなど		感覚、過敏がある 感覚に鈍感がある 感覚の細かいコントロールが難しい 気持を構うための自己調整行動がある 疲労やストレスが感覚に影響を与えている その他
※得意なこと、強み、できること、好きなことなど			

【1】課題となっている行動

【2】本人の特性

必要なサポート

<p>このシートは、本人の特性と課題を関連付けて理解するためのツールです。具体的な行動と、その行動に影響する要因を整理し、必要なサポートを明確にします。</p>	<p>このシートは、本人の特性と課題を関連付けて理解するためのツールです。具体的な行動と、その行動に影響する要因を整理し、必要なサポートを明確にします。</p>
--	--

Kさんが店内を走り回る理由を

【その行動の背景にある要因から考えられること】から考え、

関係しそうなものに をつけます

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関係する行動の特性	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な行動	【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶／注意・集中／運動・姿勢などの特性も含む)
社会性の特性	人や集団との関係に難しさがある	人とのかかわりが一方的である 相手の気持ちに関係なく行動する 一人でいることを好む 同世代の人と上手に付き合うことができない 人が多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが難しい 周囲の様子から期待されていることを理解することが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい	<input checked="" type="checkbox"/>	店内を走り回る	<input checked="" type="checkbox"/> 見えないものの理解が難しい 曖昧なものの理解が苦手である 視線や雰囲気から読みとるのは苦手である 表情や声質など全体的な理解が苦手である 文字や数等、示された情報を理解することができない 情報の多いものやその処理が苦手である <input checked="" type="checkbox"/> どこを見たいか、どこで活動したいかわからない 店内を走り回る理由を 気になること、興味運動が苦手、集中力がない 物のごとく関係運動が苦手、集中力がない ここから考えて <input checked="" type="checkbox"/> 刺激(目撃)が苦手、集中力がない 運動や手動が苦手、集中力がない 仮説を立てます 姿勢や動きがきこころないためにやる気がないように見える 時間の流れを頭の中で組み立てられない 終わりが理解しにくい 手順が思いつかない ひとつの活動に集中しきれない その他
	状況の理解が難しい	年齢相応の常識(社会的なルール)が身につけていない その場にふさわしい(安全・迷惑等状に配慮した)行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてしまう	<input checked="" type="checkbox"/>		

氷山モデルにまとめます

配布資料③- 2

配布資料④- 1

特性確認シート		【1】課題となっている行動	
診断の基準に関連する項目	見られている行動の例		
社会的特性	<p>他人のかわりか一方である 相手の気持ちや状況に行動する 一人で行くことを好む</p> <p>同年代の人と上手に付き合えることができない 人が多いところが苦手である 会話の中心にいれないと居座ることが難しい 周囲の様子から察知されていることを苦手とする 物事に決められていることと自分から決められていることとの区別が難しい</p>	<p>見えないものの理解が難しい</p> <p>店内を 走り回る</p>	<p>文字や音声、記された情報を理解することができない 情報の多いものやその処理が苦手である どこを見たらいいか、どこで活動したらいいかわからない 手探りで進んでいることを忘れてしまふ 手探りによる失敗をする時や進め方がわからない/状況がわからなくなるから戻りたくない ものごとの関連性がわからない 状況が理解できない 運動や手先の使い方が不得手で活動をごまかせない 姿勢や動きがまごちたためかやる気がないように見える 情報の取っ手を自分で組み立てられない 終わりが理解しにくい 手順が思いをつかない ひとつの活動に集中しきれない その他</p>
状況の理解が難しい	<p>場面や状況の予測が難しい 場面ごとに興味を示さない 高次の場の理解が難しい 自分の勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 場面前準備を上手に使うことができない 意味とつながりが理解してしまふ</p>		
理解が難しい	<p>言語で指し示してもすぐに行動できない/指示されたことと違うことをする 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わると通じることがある 相手の言葉や表情、気持ちを汲み取ることが苦手である/特定の表情や音響などにだけ過剰に反応する 短い言葉でないとわからない (短い言葉ならわかることもある) 相手の言葉をそのまま繰り返すことがある (反復言語、エコーラリ) 言葉の意味を推測することがよくある (見て理解が得意) 無意味で曖昧な (何よつと、ゆつくり、なんとなく、だいたいなど) 表現の理解が難しい 冗談や駄洒落、慣用語などが理解できない/言葉通りの理解 (直訳の理解を把握できない)</p>		
コミュニケーションの特性	<p>行動 (かんしゃく、パニック、身体震動、クレーンなど) で気持ちを伝える コマースやアニメの台詞は覚えても伝える手段で言葉を使えない 自分しかわからない強い力で伝えることがある (押りたくなく「りんご」と言うなど) 言葉の意味を推測しにくい (要求も、あてずくめのみ) 足音が相手の言葉を繰り返したりしやすい (反復言語) この場所ではこの台詞、この人はこの台詞とお決まりの台詞が多い 文法が優先しない (単語、二語文) /優先度も台詞 (そのま) を重視する</p>		
やり取りが難しい	<p>視線が合わない/アイコンタクトが難しい やりとりが苦手 やりとりが続かない 言葉に話し出す/自分が知っていることは相手も知っている前提で話をするのができない 理解と発話の状況像のアンバランスが大きい</p>		
想像力	<p>自分のルールを伝えられることに抵抗がある/必要があっても伝えない 目線が変わる。担当者が変わる。場所が変わるとの言葉に弱い 活動の途中で止めることができない 情報場面 (初めてのこと) が苦手である 見取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である</p>		
想像力の特性	<p>音楽、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返し再生などの一部に執着する 必要があっても、自分の興味のないものに興味を示すことができない 細かいことが気になってひびくことがある 声かけなくても聞こえてくるように感じるようことがある</p>		
想像力	<p>同じ場所に置きたい、同じ角度的にしたいなどのこだわりがある 同じ行動や動き、同じ言葉を繰り返したり進まず/後戻りする 自分なりの手順、目録、通帳などの自分ルールが多くなる</p>		
感覚の特性	<p>目覚/目を覚め、特定の音を探る、嗅ぐ、特定の音で大音量にしたがるなど 痛覚/触覚/痛覚、目を覚め、暗子やコードを目覚めにかぶる。キラキラに泣くなど 触覚/触覚/痛覚/痛覚/痛覚、目を覚め、暗子、暗子、暗子などで触ると感じるなど 痛覚/痛覚/痛覚、目を覚め、暗子、暗子、暗子などで触ると感じるなど 味覚/痛しい痛覚、特定の刺激の強い味を好む、同じものをばかり食べるなど 嗅覚/痛覚/痛覚、目を覚め、暗子、暗子、暗子などで触ると感じるなど その他/目が覚め、暗子、暗子、暗子などで触ると感じるなど その他/味覚調整や気圧の変化への対応の苦手さがあるなど</p>		
※得意なこと・強み・できること、好きなことなど			

【1】課題となっている行動

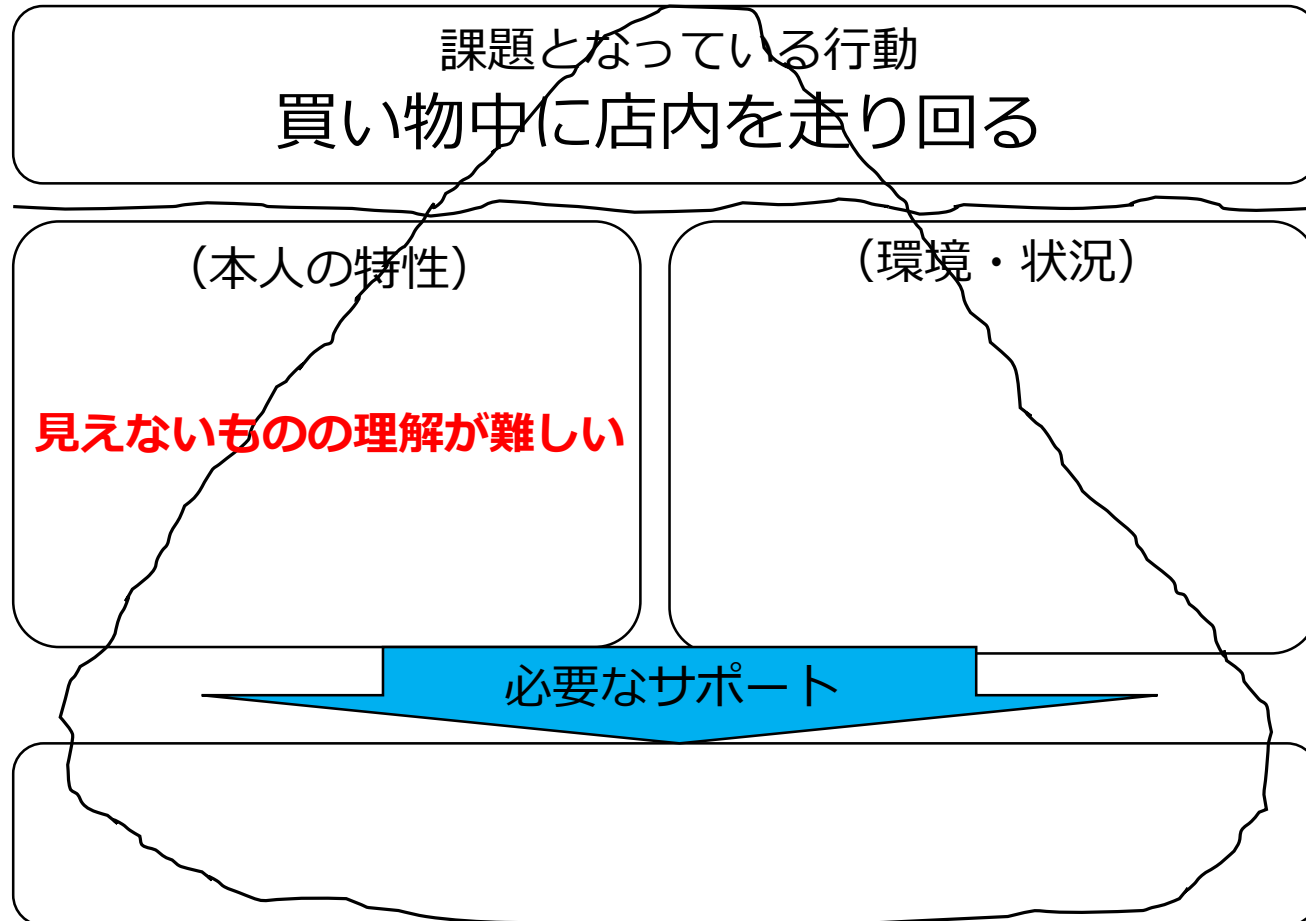
店内を走り回る

【2】本人の特性

必要なサポート

<p>1. 課題となっている行動</p> <p>2. 本人の特性</p> <p>3. 必要なサポート</p>	<p>1. 課題となっている行動</p> <p>2. 本人の特性</p> <p>3. 必要なサポート</p>
--	--

氷山モデルを使ってKさんの行動を整理します



関連する情報処理の特性を④-1シートにまとめます

配布資料③-2

配布資料④-1

特性確認シート	【1】 課題となる行動の特性
詳細の基準に照準する項目	見られている行動の例
社会的特性	見えないものの理解が難しい
状況の理解が難しい	店内を走り回る
理解が難しい	
コミュニケーションの特性	
視覚力が難しい	
想像力の特性	
感覚の特性	

見えないものの理解が難しい

店内を走り回る

【1】 課題となっている行動

店内を走り回る

【2】 本人の特性

見えないものの理解が難しいので、話し言葉で説明してもルールがわからないから走り回ってしまうのかもしれない

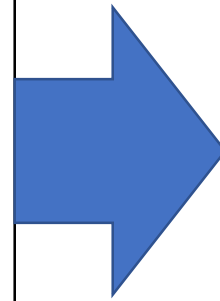
※得意なこと・強み・できること・好きなことなど

Kさんの立場で困っていることを考えて（個人）

④-2シートにまとめます

支援者が困っていること

- 店内で走ってしまっていて困る
- 指示どおり動いてくれないで困る
- ルールを守ってくれなくて困る



Kさんが困っていること

映像を視聴します

個人ワーク | 情報処理の特性を考える

1. 特性確認シートより、本人の特性をピックアップし記入しよう(④-1)
2. Kさんの立場で困っていることを考える(④-2)

グループワーク | 情報処理の特性を考える

1. 司会・発表・記録を決めます
2. アセスメント結果をグループで共有します
(G用④-1シートに記入)
3. Kさんの立場で困っていることをまとめます
(G用④-2シートに記入)

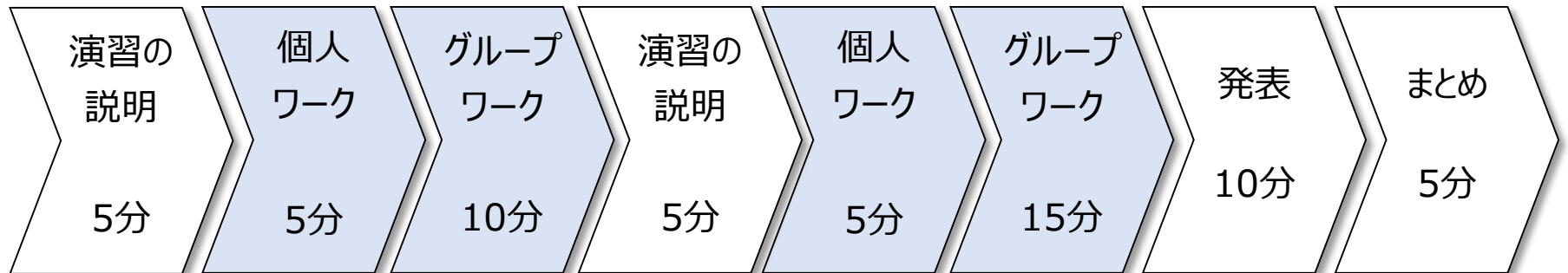
発表 | 情報処理の特性を考える

1. Kさんが店内を走り回る理由として、考えられる特性は？
2. Kさんの立場で考えると、どんなことに困っていると気づきましたか？

演習② | 環境・状況を考える

- 実際には、支援中の観察結果を書くことになります。
- 実際に観察することができない場合は、家族や他の支援者から提供された情報を使う場合もあります。
- 今日は、ビデオの様子と、様子をまとめたものから、本人の特性に合っていないもの（配慮が必要な状況）を整理してみます。

【演習の流れ】

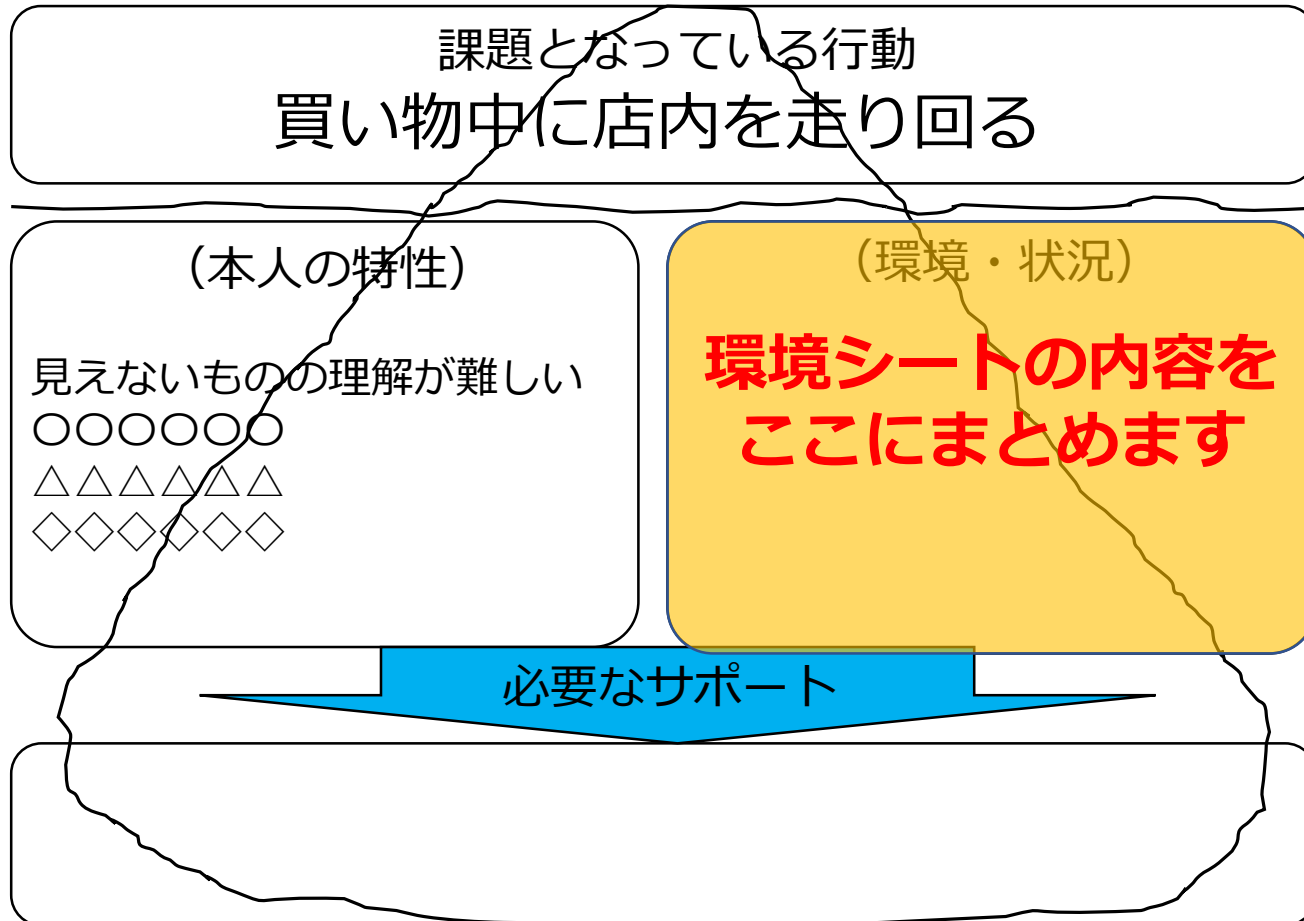


環境情報シート:Kさんの外出風景補足情報【4】

- 大きなショッピングモールに休日、家族で買い物に行きました。
- 人出の多い日で、ショッピングモールはかなりにぎわっていました。
- 人の声、館内アナウンス、BGMなどがひっきりなしに鳴っています。
- 様々な商品が並んでいる店が通路の両脇にぎっしり並んでいます。
- Kさんが大好きなおもちゃがある店の前に出たとき、Kさんはお母さんを振り切って走っていき、気になるおもちゃを持って走り出しました。
- お母さんは慌てて「K、ダメダメ、待ちなさない」などと声をかけましたが、一向に気にする様子はありません。
- お母さんが追いかけてきたことに気づくと、笑って逃げ、お母さんが商品を取り上げても怒る様子もありません。
- お母さんが商品を店の棚に戻している間に、Kさんは他の店に走って行き、気になる商品を触っていました。

※環境以外の情報も入っていますが、ここでは環境をピックアップします。

個人ワーク②-1 | 氷山モデルで整理



グループワーク②-1 | 冰山モデルで整理

- グループで共有します。
- 冰山モデルの環境状況をグループでまとめて下さい
- 【情報処理の特性】と【環境・状況】には、どのようなミスマッチが発生していましたか？

選んだ項目を冰山モデルにまとめます

配布資料③- 2

配布資料④- 1

本人が理解できる情報でつたえる

具体的な行動	(1) その行動の目的 【目的・目的・活動】	(2) その行動の内容 【目的・目的・活動】
店内を走り回る	<ul style="list-style-type: none"> 興味なものや情報が苦手 視線や音響から読みとる情報が苦手 文字や図等、示された情報を理解することができない 情報の多いものや他の情報が苦手である どこを見たいかわからない、どこで活動したいかわからない 今あるはずの物がないことを感じしてしまう 一緒に同じものを見て気持ちを合わせることが難しい/共感が少ない 気がつくことが遅い/遅い ものごとの用途がわからない 刺激に敏感なわけではない 遠くや手元の音が不機嫌で活動させない 話や音声が聞こえない/聞こえにくいように見える 周囲の視界を狭くしながら進んで行かない 終わりが理解しにくい 刺激が強いと感じない ひとつの活動に集中しきれない その他 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の周囲との関係や距離などを覚える形で伝える 自分の心と体を体められる場所を用意する 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える 視覚や音響から読みとる情報を理解する 一つの場所を多目的に使わないようにする 「どうやって」「どうなったから終わる」「次に何を」をわかるように工夫する 離れたときに誰にどう伝えたいかを具体的に伝える 視覚や音響、刺激を少なくする 活動の場や状況などの工夫をする 椅子や机などの配置を工夫する その他
	<ul style="list-style-type: none"> ものごとの用途がわからない 情報の多いものは苦手 刺激に敏感なわけではない 刺激に敏感なわけではない 聴覚に過敏がある(音・声など) 聴覚するものや音が苦手 言葉の区別の保持が難しい 音声認識でうまく伝えられない どこを見たいかわからない どうやって伝えたいかわからない やむを得ずすること自体の理解がわからない 周囲の音が強くて聴きにくい 相手の表情や状況の理解が難しい 言葉を理解する速度が他人と異なる その他 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が使いやすいツール(文章、絵画、絵、写真、シンボル、身体動作)を用意する 伝える速さを調整する 聴覚できるまで待つ 聴覚を覚え、刺激を少なくする だれに、どうやって伝えるかを具体的に示す 離れたときにも伝える工夫をする 会話も伝えるツールで支援する 本人の発達レベルに合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人数などにも配慮する その他
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の(むとつ)やり方から抜け出すことが難しい 変身があることが理解が難しい 集中しすぎると活動のペースが難しい そのペース維持するのが苦手である 部分的な記憶が強く全体の理解が苦手である 少しのことで大抵な気分になる 自分からつた記憶に強く影響される 手がかりが変わるとうろたえる やり方を変えたいが、自分からつた記憶に引っかかってしまう フラッシュバックとつながる恐れがある その他 	<ul style="list-style-type: none"> 生かせる強みがある(→補欠) 視覚から正しい方法で学べる準備をする 手話を視覚的に、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 従来のペースを維持する ペースの速いのが活動のペースの妨げにならないようにする 聴覚を覚え、刺激を少なくする 本人のペースに合わせた提示(ごほうびの活用)を行う ごほうびを活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは記憶化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
	<ul style="list-style-type: none"> 感覚に過敏がある 感覚に鈍感がある 感覚の出入りのコントロールが難しい 両利足を履いたときの感覚が異なる 感覚のトースが簡単に刺激を受けている その他 	<ul style="list-style-type: none"> 生かせる強みがある(→補欠) 必要は刺激を減らす 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする その他

【1】課題となっている行動
店内を走り回る

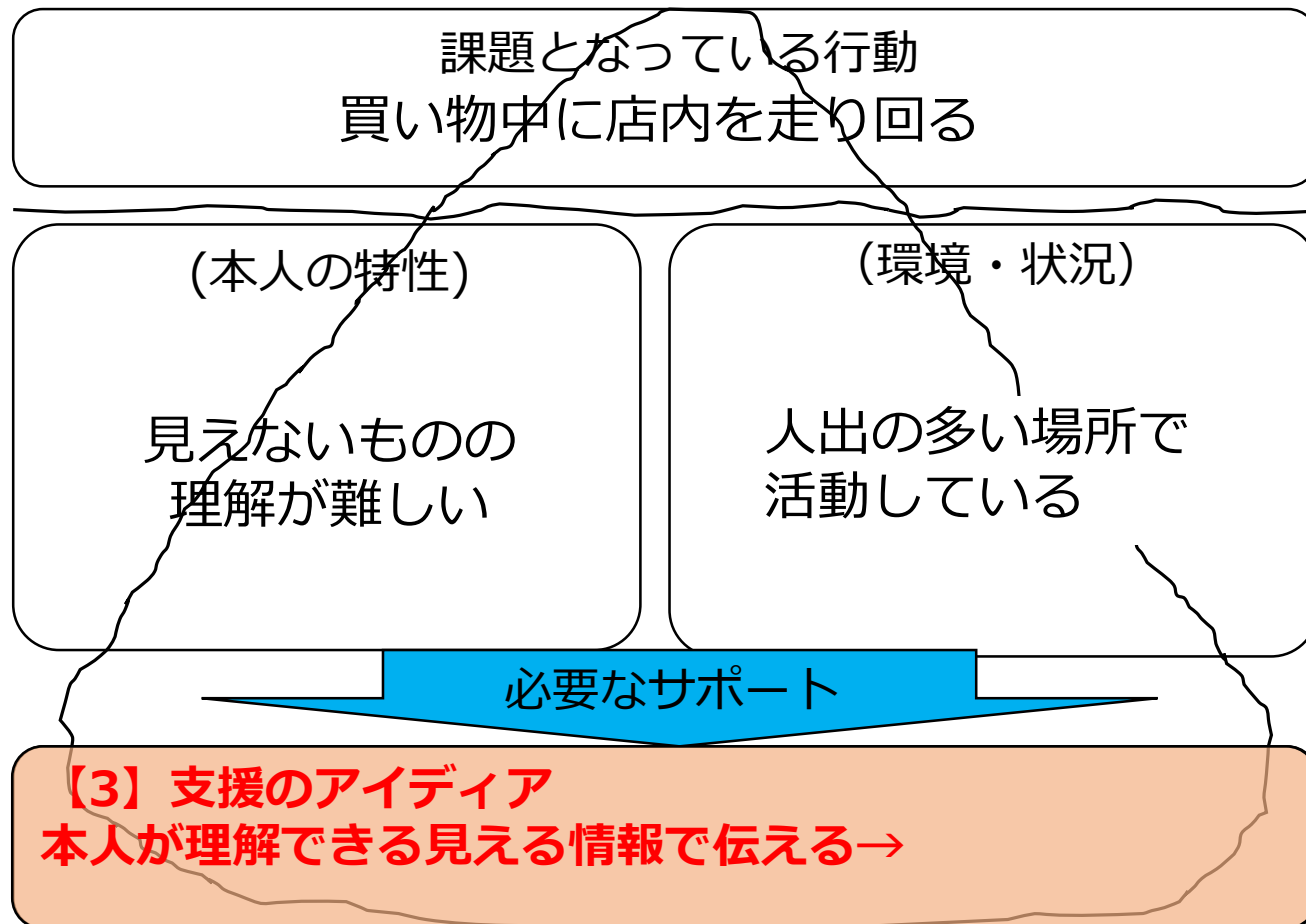
【2】本人の特性
見えないものの理解が難しい

人出の多い場所で活動している

必要なサポート

<ul style="list-style-type: none"> 本人のペースに合わせた提示(ごほうびの活用)を行う ごほうびを活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは記憶化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他 	<ul style="list-style-type: none"> 必要は刺激を減らす 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする 両利足を履くための配慮(イヤマフ、サンブラスなど)をする その他
--	--

支援アイデアを参考に必要なサポートを考えます



個人ワーク②-2 | 支援のアイデアを考える

アセスメントシートは支援のヒントシートにもなっています。

1. 支援のアイデアから項目をピックアップします
2. (時間が余ったグループは具体的な支援を考えてもよい)

グループワーク②-2 | 支援のアイデアを考える

- グループで共有します。
- 冰山モデルから導き出した【支援のアイデア】を共有しましょう

発表 | 支援のアイデアを考えます

- 【情報処理の特性】と【環境・状況】には、どのようなミスマッチが発生していましたか？
- 冰山モデルから導き出された【支援のアイデア】を教えてください

演習のまとめ | 行動の背景と捉え方

- 課題となる行動には、障害特性に起因する何らかの理由がある
- 「冰山モデル」を使った行動の背景を捉える考え方が有効
- 「情報処理の特性」と「環境や状況」を整理し課題となっている要因を明らかにする事が根拠に基づいた適切な支援の第1歩
- 導き出された支援のアイデアは、個別の障害特性への配慮の結果